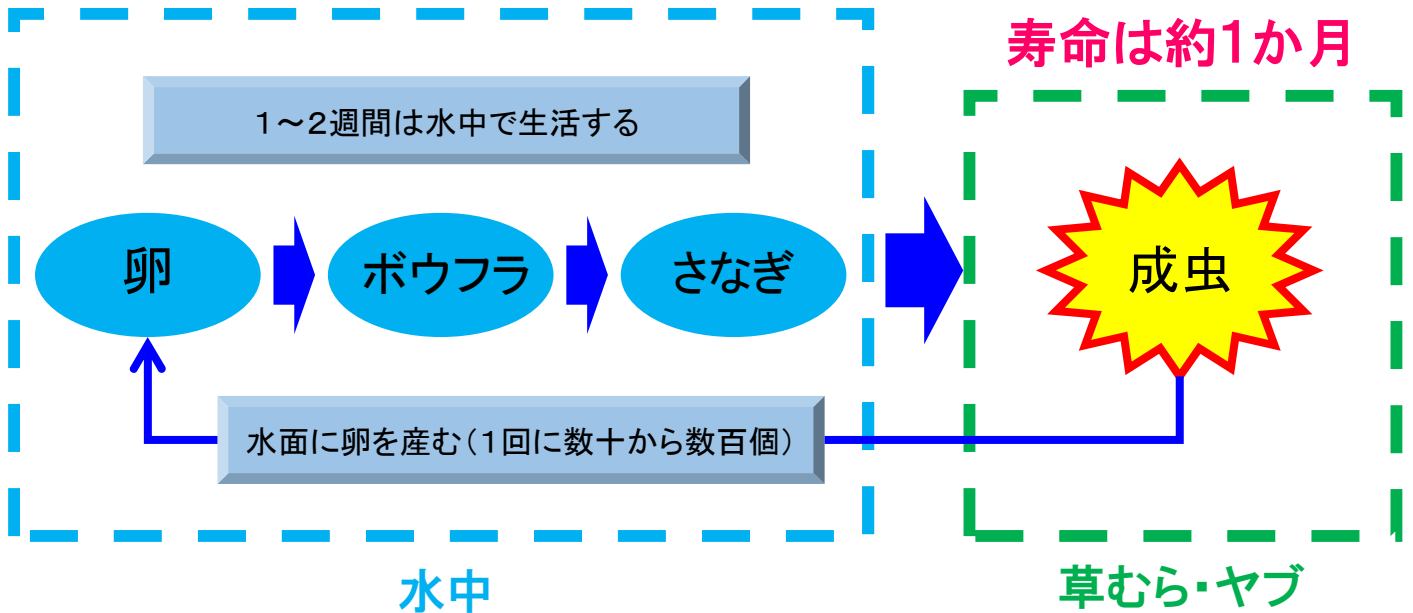


# 蚊に気を付けて！

刺されない・増やさないために



## 1 蚊の習性



蚊はメスだけが吸血します。メスは水際や水面に卵を産み、卵がふ化すると「ボウフラ」（蚊の幼虫）になります。「ボウフラ」はやがて「さなぎ」になり、「さなぎ」が羽化して成虫になります。メスの成虫は3日ほどで吸血を始め、約1か月の寿命があります。

## 2 蚊に刺されないために

### 肌の露出をさけましょう

蚊の多い場所へ行く時には長そで・長ズボンを着用し、肌の露出をさけましょう。



### 忌避剤を正しく使用しましょう

虫よけスプレー・ローション等の各種形状の製品がありますが、使用上の注意をよく確認してから使用しましょう。



### 蚊のいる場所はさけましょう

雑草の茂った場所や湿った風通しの悪い場所にとどまることは控えましょう。

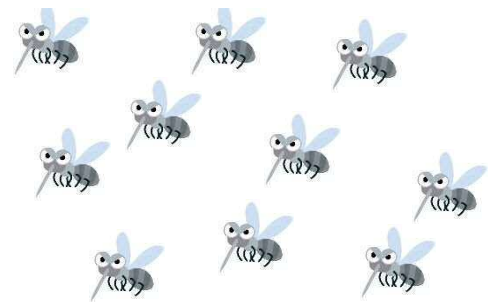


### 蚊を家に入れないようにしましょう

窓に網戸を設置したり、ドアの開閉をなるべく少なくしましょう。



# 3 蚊を増やさないために



**こんなところに蚊のすみかがあります！！**

## 幼虫(ボウフラ)対策

ボウフラは小さな水たまりでも発生します。  
水たまりをなくし、水たまりの原因となるものをかたづけましょう。



水たまりの落ち葉、ゴミ等は片づける

## 成虫対策

成虫は草むらやヤブの中など湿った風通しの悪いところにいます。  
雑草の草刈りなどを定期的におこない、蚊のすみかをなくしましょう。



こんな場所に潜んでいる



植木鉢の受け皿にある水は週に一度取り替える



## 殺虫剤を使用するときは

殺虫剤による駆除は、その場限りの対策であり、蚊の発生をおさえるものではありません。やむを得ず、殺虫剤を使うときは、**使用方法・注意事項を守り、必要最小限の量の散布**としてください。

むやみに殺虫剤を散布することは、環境を汚染するだけでなく、人やペットの健康にも悪影響を与えます。

また、虫よけスプレー、蚊取り線香の使用にも**周囲の人への配慮**が必要です。持続的な防除をするには、蚊の住みにくい環境にすることが最も大切です。

## 相談窓口

部署	電話番号
岡山市保健所保健課感染症対策係	086-803-1262
岡山市保健所衛生課環境衛生係	086-803-1258